

はじめに

私の記憶にある福生は、近隣と比較しても最も賑やかなまちで、元気がみなぎっていました。しかし近年、福生市内小売業の年間販売額の減少は続いています。このことは中小企業庁が平成 18 年に実施した商店街実態調査において、全国の商店街の 7 割が「景気は停滞、衰退している」と感じていることが報告されているように、全国どこの商店街でも抱える問題です。福生市だけが特別な状況ではありませんし、特効薬があるわけではありません。

しかし、商業とともに発展してきたこのまちに賑わいを取り戻すために何らかの手を打たなければならないという強い認識の下、市内商業の状況を今一度見つめなおした上で適切な方向性を打ち出すべく、「福生市商店街振興基本調査」を社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩に委託し、福生市商工会とともに産学官連携して調査、検討を行いました。

ネットワーク多摩では各種調査を短期間を実施するとともに、福生市商業活性化検討委員会を設け、現状の的確な把握と分析、今後の取り組みの方向性を学術的・専門的知見をもって示していただきました。

調査を実施するにあたり、ご協力いただいた多くの方々に深く感謝を申し上げます。今後、福生市の商業振興を図るにあたっては本報告内容を基に、関係各位のご協力を賜りながら進めてまいりますので、なお一層のお力添えをお願い申し上げます。

この報告書が、福生市の商店街、商業の振興、まちの賑わいの再生へと結び付けられることを期待しています。

福生市長 加藤 育男